



2023年12月1日 発行  
 社会福祉法人 尚徳福祉会  
 保育園与那原ペアーズⅡ

年末年始は、楽しい行事が盛りだくさん！  
 外出や来客なども多く、生活習慣が乱れがちとなりますが、睡眠・食事の時間を意識し、病気や事故のない、楽しい年末年始をお過ごしください。

《 11月の感染症情報 》

- 咽頭結膜熱（プール熱） … 1名
- 手足口病 … 5名
- 溶連菌感染症 … 1名
- 突発性発疹 … 2名
- インフルエンザ … 4名

歯科検診のお知らせ

12月5日(火) 9時～

朝食後、ていねいに歯みがきをして登園しましょう。なるべく休まないで登園をお願いします。お休みした場合は、後日、保護者の方により受診していただきます。



「#8000」（または098-888-5230）

相談時間 平日 午後7時～翌朝8時

土日・祝祭日・年末年始 24時間対応（年末年始は12月19日～1月3日）

固定電話及び携帯電話の場合は、#8000へおかけください。

ダイヤル回線や#8000をご利用いただけない地域からは、

「098-888-5230」へおかけください。

電話相談は、病気の診断や治療を行うものではありません。相談を受けた際に、もし不安な点がありましたら、ご家族で判断されて救急病院などを受診されてください。

年末年始は、ほとんどの病院が休診となります。

「こども医療でんわ相談」は休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか判断に迷った時に看護師・医師への電話による相談ができるものです。



発熱したら…

発熱について

発熱は、体温上昇によって体内に侵入してきた細菌やウイルスの増殖を抑え、免疫力を高め、体を守る生体防御反応と考えられています。その為、解熱剤の使用は慎重にしましょう。

解熱剤について

熱のために食欲がない、水分も取れない、ちゃんと眠れない、ぐずっているような場合に使用しましょう。

使用して、熱を下げて病気が治ったわけではありません。効果が切れたら、また熱が上がります。解熱の判断は24時間以上熱が出ない時です。解熱剤で熱を下げて無理をさせると、病気が長引く、または、その次の病気になるおそれがあります。体を休ませるのが一番の治療です。

熱の出はじめ

手足の冷感・寒気や震え・活気がない・顔色が悪いなどのとき  
 ⇒ 保温し、安静。

熱がある（手足が暖かい）とき

⇒ 室温を低めにしたり、掛け物や衣服の調節。気持ち良さそうであれば氷枕に利用や、首、脇の下、足の付け根などを冷やしましょう。冷却ジェル（熱さまシートなど）は解熱効果はありませんが、お子さんが好めば利用しましょう。ずれて口や鼻を覆い窒息する可能性があるため気をつけて利用しましょう。

食事・水分

食事は消化がよく、のどごしの良い物を食べさせましょう。食事が取れなくても、水分補給ができていれば問題ありません、こまめに飲ませましょう。経口補水液も効果的です。炭酸水、濃度の濃い果汁はさけましょう。12時間以上排尿がない場合は、脱水状態が進行している可能性があるため、受診しましょう。

保清

熱があっても機嫌よく遊んでいる場合は、シャワーのみなど短時間で。汗をかいた時は、そのままにしておくと、体が冷えてしまうため、必要に応じて衣類の交換・清拭を行います。

「小児看護」参考

このような時は保育園をお休みすることをおすすめします

- 24時間以内に38℃以上の熱が出た
- 24時間以内に解熱剤を使った
- 朝から37.5℃を超えた熱とともに、元気がなく機嫌が悪い食欲がなく、食事・水分が摂れていない

「保育所における感染対策ガイドライン」より抜粋

与那原町では病児・病後児保育事業を行っております、お仕事の都合がつかない時などに利用をご検討ください。